



# 藻場の再生によるブルカーボンの創出 —2023年度活動報告—

葉山アマモ協議会

*Bonai*



# (1) 葉山アマモ協議会2023年度の主な活動

2024年5月3日 ひじき保全活動 (72名)

場所：真名瀬漁港、真名瀬会館  
内容：ひじきの海をシュノーケリングで観察、ヒジキ漁の見学、ひじきの窯焼き見学、ブルカーボン勉強会、食の会等を実施。



2023年7月2日 藻場保全活動 (51名)

場所：芝崎の根周辺、名島近海  
内容：ウニ駆除活動 駆除数約8500個体  
藻場再生活動による藻場再生、ブルーカーボン創出に関する啓発



2023年9月17日 藻場保全活動 (82名)

場所：芝崎の根周辺  
内容：藻場視察、ウニ駆除 (約3000個体)、サザエ放流 (2500個)  
藻場再生によるブルーカーボン創出、水産生物の増殖に関する啓発活動



2023年11月11日 藻場保全活動 (35名)

場所：芝崎の根周辺  
内容：カジメの子嚢斑の付いた葉を採取し、ロープに固定若しくは自然分解性のスポアバックに入れて磯焼けした海底に設置する活動を実施。



2023年12月10日 アマモ場保全・啓発活動 (91名)

場所：葉山町一色小学校  
内容：葉山の海域の藻場が衰退する原因、その再生によるブルカーボンの創出について子どもたちに判りやすく授業。実習ではアマモの種子を播種し、学校での種苗生産を行った。



2023年12月24日 藻場保全・水産生物増殖 (サザエ放流)、啓発活動 21名

場所：芝崎の根周辺、名島周辺  
内容：ウニの駆除個体数約1500個体、裕次郎灯台沖西の根にサザエ200個体を放流、ブルカーボンクレジット創出と生物多様性活動への展開を啓発した。



2024年3月3日 カジメ藻場保全活動・啓発活動 (32名)

場所：芝崎の根周辺、名島周辺  
内容：ウニ駆除個体数約3500個、一部(200個程度)は地域の小学校での堆肥化(啓発活動)、カジメ藻場の被度調査、アマモの生育状況調査を実施。



2024年3月29日 ワカメ場保全、啓発活動 (70名)

場所：真名瀬漁港周辺、新名瀬会館  
内容：ワカメの漁業・食文化を学ぶ会を葉山町の親子を主体に実施した。漁業者によるワカメの漁業体験、食、ワカメスポアバック投入によるワカメ場の保全・再生活動を実施。





## (2) 今後の活動計画

- 1) **再生藻場における水産生物の積極的な増殖と啓発活動**  
藻場の水産生物育成、漁場効果の検証と  
地域におけるブルカーボン創出に係る啓発活動
- 2) **港湾環境における藻場再生と保全**  
港湾環境における海藻の再生、漁場の創出活動
- 3) **ブルーエコノミーの評価、コベネフィット算定**  
ブルカーボンクレジット創出活動に伴う地域経済、地球温暖化対策等に係るコベネフィットの算定

